



“海外導入支援プログラム”を利用した導入の流れをご紹介します！

海外導入支援プログラム

国内拠点（本社・工場）と海外拠点（香港・台湾）へのオンライン会議システムの導入事例をもとに、ご相談から運用開始までの流れをご紹介します。



【Step 1 / 営業訪問・ヒアリング・機器選定】

国内拠点（本社・工場）と海外拠点（香港・台湾）への同時導入を希望

Web会議で国内海外間の打ち合わせを行っていたものの、ネットワークの状況に映像・音声品質が左右されて思うような打ち合わせができませんでした。そこで、オンライン会議専用機を導入したいとのこと。

以下をヒアリングして、お客様のご要望に沿った機器を選定しました。

- ・接続拠点の情報（国・都市）
- ・参加人数
- ・使い方
- ・運用ルール
- ・会議室規模
- etc.



【Step 2 / 現地代理店の選定・見積依頼】

VTVジャパンの海外導入支援チームが現地代理店を選定して見積依頼

VTVジャパンでは世界約30カ国に導入実績があります。

導入実績がない国でも、製品を取り扱う現地代理店を探して見積を依頼します。



【Step 3 / デモストレーション】

実際に導入するシステムの映像・音声・使い勝手をお客様自身の目で確認

国内拠点にてご提案した機材を持ち込んでデモストレーションを実施。映像・音声等の品質が飛躍的に上がることを確認してご納得いただいた上で導入が決定しました。

Kick-offから1ヶ月

Kick-offから1.5ヶ月

【Step 4 / 機材手配・設置調整】

香港・台湾の現地代理店に連絡を入れて、機器調達依頼と設置調整

VTVジャパンから、香港・台湾のそれぞれの現地代理店に調達依頼をし、お客様の設置ご希望日を伝えて日程調整を行います。

必要場合はオンライン会議で、事前打ち合わせも行います。

設置には、必ず現地ご担当者の情報とお立会いが必要になりますのでご協力ください。

【Step 5 / 設置・通信テスト】

現地代理店が海外のお客様先に訪問し、設置と通信テスト、および操作説明を行います。

今回のケースでは香港拠点との通信テストで音声品質に問題が発生しましたが、VTVジャパンサポートチームから現地代理店に設定変更を指示し、その場で問題を解決しました。

設置作業完了後、本社・工場と香港拠点との最終通信テストを行い、国内・外のご担当者に映像・音声品質に問題が無いことを確認いただきました。お客様のご都合で同時設置ができなかった台湾拠点も、後日設置作業と通信テストを行い、作業終了となりました。



【導入後も安心のワンストップサポート】

海外拠点も現地代理店が提供する保守サポートに加入できます。VTVジャパン経由で加入いただくことで、お問い合わせ窓口を1つにまとめることができ、トラブル時の障害切り分けもスムーズになります。システム管理者の手間を最小限に減らすことができます。



海外からVTVサポートデスクへのお問い合わせもOK



Kick-offから3ヶ月

